

設楽ダンプカー協会主催・交通安全活動会議を開催

- ・日 時 平成31年1月25日（金）午前11時から
- ・場 所 東栄グリーンハウス 研修室
- ・議 題 設楽ダンプカー協会の取り組みについて
関係機関への協力依頼
参加者による意見交換

当日は多くの関係者が出席され、会議が開催されました。

最初に、亀山隆・設楽ダンプカー協会会長様からご挨拶をいただきました。「設楽ダンプカー協会は設楽ダム関係事業や三遠南信自動車道関係工事に伴う工事車両が北設楽郡内を多数通行している状況の中、設楽警察署と協力し、地元住民の交通安全に対する不安や工事関係者の地元貢献等を考え、交通安全活動を推進していきたい。」とのことから、今回の会議を開催し、関係者に交通安全活動の呼びかけとご協力をお願いしました。また、ダンプカー協会が自主的に横断幕を作成し、ダンプカーに装着して、2月から道路を走行いたします。

それに先立ち、下記のとおり「ダンプカーによる交通事故防止広報活動出発式」を行います。

- 日 時 平成31年1月31日 午前10時15分から
- 場 所 三遠南信自動車道東栄IC入り口
- 内 容 横断幕を取り付けたダンプカーが出発し、管内を走行する。

「ゆっくり走ろう奥三河 私はペースカーです」と記載された横断幕をダンプカーに取り付け、ドライバーに交通安全を呼び掛ける。

会議では、村上東栄町長、大崎設楽警察署長があいさつをさせていただきました。その後、村田交通課長から設楽署管内の交通事故状況や今回の会議、今後の活動などを説明していただきました。その後、参加いただいています皆様との意見交換をさせていただきました。（交通安全協会設楽支部長様、発注者であります国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所様、同じく浜松河川国道事務所様、そして、受注者であります大林組様等から意見をいただきました。

行政も含め、参加者全員で交通安全活動を推進していくことを確認し会議を終了いたしました。

【町長のあいさつ】

皆さん こんにちは。ご紹介をいただきました東栄町長の村上です。

本日は、設楽ダンプカー協会主催の交通安全活動会議に多くの関係者の皆さんにご参加いただき、東栄町で開催いただくことを心より感謝申し上げます。

さて、ダンプカー協会におかれましては、毎年の夏の交通安全県民運動期間に併せて、設楽署管内（稲武地域を含め）において、ダンプカーでパレードを実施し、啓発活動を続けていただいております。また、常日頃から事業所が一丸となって、安全運転に心がけていただいております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

愛知県下の状況はご承知のとおり、相変わらず交通死亡事故はワースト1であります。一方、設楽署管内での状況は、先日の広報資料によりますと平成30年12月までですが、死亡事故が設楽町と東栄町でそれぞれ1件発生しています。人身事故件数は27件で物損事故を合わせると310件でありました。

特に管内事故の特徴は、設楽地域外の方々の事故が多く発生しているようでございます。

我々の地域は現在、設楽ダムや三遠南信自動車道関係などの工事をはじめとする関係車両も多く通行しています。現在のところ事故の報告もなく、大変うれしく思っています。しかしながら、この地域は高齢者が多く、車の運転や歩行においても、交通安全に対する不安も多いため、今後もより一層の交通道徳向上と事故防止にご協力をお願いいたします。また、関係の皆さんが、それぞれの立場で交通安全活動を積極的に推進され、1件でも交通事故が少なくなるよう一層のお力添えをいただきたいと存じます。

そして、本日の会議がきっかけとなり、設楽署管内の地域の皆さん全員が交通安全意識の高揚を図り、常に安全運転に努め、「安全で安心な設楽地域が実現されること」を祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。

平成31年1月25日

東栄町長 村上孝治



【会議であいさつをする村上町長】



【ダンプカー協会が作成した横断幕：左から亀山会長、村上町長、大崎署長】